

紛争の影響を受けたナイジェリア 北東部および中央帯のコミュニティ への社会の安定と治安に関する支援



ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：576万6,127米ドル

主なパートナー：国際協力機構（JICA）、日本の民間セクター

目的

このプロジェクトは、紛争の影響を受けたナイジェリア北東部および中央帯のコミュニティにおける社会の安定を支援し、テロを阻止することを目的としています。このプロジェクトではコミュニティの平和構築と回復に関する統合されたアプローチを採用し、選定された対象コミュニティに対して相互に関連する4分野における複数の支援からなるパッケージを提供します。対象となるコミュニティは紛争により最も被害を受けた、北東部のアダマワ州、ボルノ州およびヨベ州と、中央帯のタラバ州、ナサラワ州およびベヌエ州の6つの州です。

プロジェクトの成果

成果1：対象コミュニティにおいて生活の安定化を図ること

成果2：対象コミュニティにおいて基本的サービスを回復すること

成果3：対象州で効果的で説明責任を果たすローカル・ガバナンスを生み出すこと

成果4：社会的一体性を取り戻し、コミュニティの治安を回復すること

SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、4、5、8、9、10および16に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

ナイジェリアは、北東部で長期にわたって続き、近隣諸国や国内のその他の地域におけるコミュニティ間の衝突にまで波及した紛争など複数の危機に直面しています。気候変動や砂漠化に加えて北東部の紛争の影響により家畜の放牧が困難となり、牧畜民は南部への移動を強いられました。

そのため、とりわけ中央帯において武力衝突が広がりました。今日ナイジェリアはこれらの危機のために、全体的な紛争の可能性に関するリスクインデックスが最も高い国であり、社会経済的な脆弱性、不平等さ、および食料不足の面でのリスクも高まっています。

北東部および中央帯における危機は、2020年3月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の大流行が発生してから急速に悪化しました。2021年1月10日時点で感染が確認された人の数は、ベイ州で1,502人、中央帯で1,870人でした。

これらの州ではウイルスの蔓延により治安状況が悪化し、衝突や攻撃による犠牲者の数が増加しています。

実際、6つの州における2020年の年間の衝突における犠牲者は3,680人で、2019年の年間の犠牲者数の合計である2,631人を大きく上回りました。